

公益社団法人出水郡医師会
令和 7 年度 第 8 回定例理事会議事録

開催日時：令和 7 年 11 月 11 日（火）19:30～20:40

開催場所：出水郡医師会会議室

理事現在数及び定足数：現在数 11 名、定足数 11 名

出席者：理事 10 名

〔本人出席〕 來仙隆洋、黒木康文、朝倉孝弘、永松省三、新富義侯、辺本文平、
吉井治美、内匠拓朗、山本正昭、原 善根

〔監事出席〕 高野卓二

〔事務局〕 尾上博美、新藏光明、原田あかり

議 事：

〈報告事項〉

1. 会報編集委員会(10/1)
2. 令和 7 年度第 1 回鹿児島県地域医療構想調整会議(10/3)
3. 令和 7 年度第 1 回出水保健医療圏病床機能別専門部会合同部会（10/9）
4. 令和 7 年度第 3 回出水市教育支援委員会（10/10）
5. 出水総合医療センター地域医療支援病院運営委員会（10/15）
6. 令和 7 年度北薩地域産業保健センター運営協議会(10/17)
7. 北薩地域保健医療圏地域医療構想調整会議（10/20）
8. 第 46 回産業保健活動推進全国会議（10/23）
9. 第 2 回郡市医師会長連絡協議会（10/23）
10. 第 11 回地域医療構想対策委員会（10/23）
11. 令和 7 年度第 2 回地域密着型サービス運営委員会（10/23）
12. 准看護学校
13. 附属阿久根看護学校
14. 広域医療センター
15. 第二病院
16. 各支部報告
17. 県理事報告
18. 法人検査について
19. その他

〈承認事項〉

1. 介護保険認定審査会委員の推薦について
2. その他

〈協議事項〉

1. 令和 8 年度日曜・休日当番医について
2. かごしまドクター便りの原稿執筆者推薦について
3. その他

添付資料

- 資料 1 広域医療センター運営状況報告
資料 2 第二病院理事会報告
資料 3 介護認定審査会委員推薦名簿
資料 4 鹿児島ドクター便りの原稿執筆者推薦について
資料 5 公益法人検査結果通知書

《報告事項》

1. 会報編集委員会

中村副会長

令和7年10月1日（水）医師会会議室で開催された。

秋の校正及び新年号の編集方針について協議。新年号の巻頭言は、例年通り來仙会長にお願いすることとなった。

2. 令和7年度第1回鹿児島県地域医療構想調整会議

來仙会長

令和7年10月3日（金）鹿児島県庁にて開催された。

協議事項

- 1) 病床機能報告及び定量的基準について
- 2) 定量的基準見直し案について

病床機能報告をするときには入院基本料とか特定入院料とかの分類で一つのベッドの値段があつて、そのベッドが一つの病棟20床の内にどれくらいの入院料の配分になるか病床機能が決まるのだが、その細かな変更の説明があつた。

報告事項

- 1) 地域医療構想に関する国の動向等について

医療機関の役割分担をさらに明確にすることに加えて、外来とか在宅とか介護との連携が今後は進められていくということの骨子の説明があつた。

- 2) 県地域医療構想アドバイザーの推薦について

元々産業医科大学にいらっしゃった松田晋哉先生（福岡国際医療福祉大学）によると、医師会の中で、こういう病院があつてこういう機能もっているんだけど、それがデータ化されているだけで今終えているので、今度は実際そのデータを使って、ここの病院はこういう機能になるべきというような指針を世に出していく時代になっていくということになりそうだとのこと。

その他

3. 令和7年度第1回出水保健医療圏病床機能別専門部会合同部会

來仙会長

令和7年10月9日（木）第二病院にて開催された。

議事

報告事項

- 1) 北薩地域保健医療圏地域医療構想調整会議の開催状況について
- 2) 令和6年度第2回北薩地域保健医療圏地域医療構想調整会議の結果について

協議事項

- 1) 年度目標について
- 2) 具体的対応方針と令和6年度病床機能報告に異なりがある休床中の医療機関の対応について

平成30年度に19床持っているある医療機関が、今後は慢性期と回復期と介護保険施設として病床を活用したいという申し出があつたが、現在諸事情により休床という形で再度認めてほしいという申し出があつて、それをこの調整会議の中で承認を得たとのこと。

情報提供

- 1) かかりつけ医報告制度について

実際に事業所からきちんとかかりつけ医として対応できるだけのいろんな諸条件を満たしているかというのを報告によって確認して、もしも満たされていない場合には県に上げているかかりつけ医という立場を外していくようなムー

ドになっている。G-MIS あるいは紙の調査票にて提出していただくという形になりそうだ。

2) 2025 年に向けた評価について
その他

4. 令和 7 年度第 3 回出水市教育支援委員会 永 松 理 事

令和 7 年 10 月 10 日（金）出水市役所 大会議室で開催された。
審議

- 1) 2 グループに分かれて審議
- 2) 全体審議

今後について

大体レールが敷かれているようにクラス分けされていて、問題は増えているが、子供の数全体は減ってきている。今後、学校のクラスが減って、先生たちがどうなるか話題になっていくと思う。仕組みはスムーズになってきている。

5. 出水総合医療センター地域医療支援病院運営委員会 中 村 副 会 長

令和 7 年 10 月 15 日（水）出水総合医療センターで開催された。
議 事

- 1) 紹介・逆紹介率の推移について ……あまり変化はなし。
- 2) 高額医療機器共同利用の実績について
- 3) 救急患者取扱件数について ……若干減っている。
- 4) 出水総合医療センター開放型病床登録医療機関の名簿
- 5) 初期臨床研修医（地域医療）受入状況について
- 6) 市民交流事業及び広報活動について
- 7) 出水圏域地域リハビリテーション広域支援センター活動について
- 8) 出水地域脳卒中ネットワーク研究会について

薬剤師会より救急患者の薬剤の過剰摂取の件数について質問があり、年間 10～20 例で自殺企図の患者で、平均年齢が 40 歳位で圧倒的に女性が多いとの回答であった。

6. 令和 7 年度北薩地域産業保健センター運営協議会 朝 倉 理 事

令和 7 年 10 月 17 日（金）18:30～川内看護専門学校 大会議室にて開催された。
来仙会長、朝倉理事が出席。

報告事項

1) 令和 6 年度事業活動報告

- ①健康診断結果に基づく医師の意見聴取 71 回（219 事業場）2,265 名
- ②保健指導（脳・心臓疾患高リスク） 141 事業所 269 名（前年度より増加）
- ③メンタル相談 0 回
- ④過重労働面接 1 回 1 名
- ⑤高ストレス 1 回 1 名

2) 令和 6 年度補助金執行状況及び令和 7 年度予算額

- *施設管理費 約 606 万円（この内 8 割は医師・保健師・CD への謝金）
- *令和 7 年度は、若干増額

3) 川内労働基準監督署

- ①高齢者の就労と被災状況
 - *60 歳以上の割合がともに増加傾向



- * 高齢労働者の労働災害防止の推進
 - * 事業者の努力義務(R8. 4. 1 施行)@国が定める指針に基づく取り組みが必要
- ②精神障害の労災補償状況

- * R6 1,055 件 (前 883 件)
- 1) パワハラ 2) 仕事内容・量の変化
- 3) 顧客・取引先・施設利用者等からの著しい迷惑行為
- 4) セクハラ



- * 職場のメンタルヘルス対策の推進
- * 労働者 50 人未満の事業場においても、ストレスチェック・高ストレス者への面接が義務 (公布後 3 年以内)
- * 地域産業保健センターの体制拡充

協議事項

- * 各委員からの意見交換

7. 北薩地域保健医療圏地域医療構想調整会議

来 仙 会 長

令和 7 年 10 月 20 日 (月) 川薩保健所 大会議室にて開催された。

議事

1) 報告事項

- ア 令和 6 年度第 2 回北薩地域保健医療圏地域医療構想調整会議について
- イ 令和 7 年度第 1 回各保健医療圏病床機能別専門部会合同部会の協議結果について

2) 協議事項

- ア 年度目標について
- イ 令和 6 年度病床機能報告と定量的基準の照合結果について
例えば、20 床くらいの一つの病棟について、急性期でやっていると報告をしたが、1 病床あたりで診療報酬もらえる額×20 床をデータ数字化で見たら、急性期に及ばず回復期になると、病床機能報告と定量的基準の突合という考え方になる。川内の 1 医療機関が急性期だと病床機能を報告されていたが、実際に一つのベッドで大体平均的に診療報酬取れる額×病床の数が急性期には満たずに、回復期として修正をされたという内容になる。
- ウ 具体的対応方針 (2025 年に向けた計画) で未定と回答した非稼働病棟の対応について
川内の 5 つの医療機関がずっと休棟中になっていて、今後もこの形で休棟としたいということで承認されている。
- エ 具体的対応方針と令和 6 年度病床機能報告に異なりがある休床中の医療機関の対応について
出水郡医師会の 1 医療機関 19 床がいくつかの機能で将来的にやっていきたいということを過去に表明していたが、結局休棟になっていて、今後も休棟にするというような内容となっている。

3) 情報提供

- ア (仮称) 薩摩川内市上甕島診療所建設について
令和 9 年 2 月、上甕と下甕にある里診療所と上甕診療所と鹿島診療所の 3 つの機能を統合した (仮称) 薩摩川内市上甕島診療所を開院予定であり、鹿島診療所は出張診療所となることから、持っている 8 床の病床を廃止したいという旨

- の申し出があり、認められた。
- イ かかりつけ医報告制度について
- ウ 2025 年に向けた評価について
- 4) その他

8. 第 46 回産業保健活動推進全国会議

朝 倉 理 事

令和 7 年 10 月 23 日（木）13:00～日本医師会館 大講堂から県医師会館へのオンライン配信での参加。

1) 中央情勢報告

厚労省労働衛生課長 佐々木 孝治

1) メンタルヘルス対策

2) 治療と仕事の両立支援

＊病気を抱える労働者の通院状況・・・40.6%

＊病気を理由に退職した者の退職時期・・・治療開始前 25.3%

初回治療中 31.2%

＊労働施策総合推進法・・・「治療と就業の両立支援指針」を定め公表

(R8. 4. 1～)

2) 産業保健総合支援事業に関する活動事例報告

1) 山口産業保健総合支援センター活動事例報告

2) 高岡地域産業保健センター活動事例報告

3) 那覇地域産業保健センター活動事例報告

3) シンポジウム

高年齢労働者の労災対策

1) 高年齢労働者の労働災害防止対策の現状 厚労省安全衛生部安全課

＊死亡者数は R6 年度過去最少も、休業 4 日以上之死傷者数は 4 年連続増加

製造・建設業から小売業・社会福祉施設へシフト

＊労働安全衛生法の高年齢労働者関係の既定の追加→指針を検討中

(R8. 4. 1 施行)

2) エイジフレンドリーガイドライン 日本予防医学協会 赤津 順一

＊高年齢者の安全と健康確保のためのガイドライン(R2 年 3 月 16 日公表)

3) 高年齢労働者の労災への具体的な対策 松葉労働衛生コンサルタント

4) 産業医需要供給実態調査事業に関する報告

委員会 一瀬 豊日

5) 質疑応答

9. 第 2 回郡市医師会長連絡協議会

来 仙 会 長

令和 7 年 10 月 23 日（木）鹿児島県医師会で開催された。

報告

1) 県立学校における学校医報酬の増額要望並びに学校医確保（調整）への対応について

鹿児島県下の色々な県立学校が学校医に対して支払っている報酬を色々見える化して、R8 年 4 月以降は県立学校からの学校医への報酬は 24 万円にするというようなことで、鹿児島県医師会が教育委員会とこれから折衝をするとのことである。

それに伴い、市立の小学校・中学校の学校医への報酬額もどの程度が妥当なのか考えなくてはいけない時期にあると考える。

2) 医師会組織強化について

医師会員を増やしていこうという考え方である。

協議

1) 鹿児島県の精神科救急体制について

例えば、夜間・日祝とかにかかりつけの患者さん関係で、非常にトラブルを生じかねないような患者さんをどこに紹介すればいいのかという場合、「本県における精神科救急医療システム体制図」というのがある。これから先、何か起きた時にはこういう窓口をお使いいただければと思う。以前、精神科の先生にこのシステムについて説明をお願いしたところ、警察が絡んでくるとこういう医療システムが動きやすいとのことであった。

2) 「診療報酬改定の実質的な状況アンケート」結果の活用について

どこも診療報酬が少なく、運営がむずかしいということ。

3) 日本医師会の活動に「医療従事者の生活を守る」趣旨を盛り込むことについて

2)・3) について、11/20 開催「国民医療を守るための総決起大会」で、ぜひお声を上げていただければと思う。

4) 自然災害で締切があるレセプト入力や EMIS 入力について

霧島で水災害があったときに、丁度レセプトの提出時期と重なったということで、非常に難儀をされたみたいで、その件に関しての鹿児島県医師会からの回答書をご一読いただいて、出水医療圏で同じような状況になったときには、まず九州厚生局とか鹿児島県医師会に連絡してもらって、うまくレセプトを後で受け取るような仕組みがあるので、ぜひご活用いただきたい。

無床診療所は新 EMIS の対象外となっているので、その時の対処法も記してある。

その他

1) 救急ドクターライン（＃7000）の設置について

鹿児島市立病院で設置されており、医者のための緊急なラインになっているので、患者さんの紹介等々で鹿児島市立病院の機能を活用したい時はご利用いただきたい。

10. 第 11 回地域医療構想対策委員会

来 仙 会 長

令和 7 年 10 月 23 日（木）鹿児島県医師会で開催された。

報告

1) 鹿児島県地域医療構想調整会議について

説明

「新たな地域医療構想について」

日本医師会常任理事で鹿児島から出てらっしゃる今村英仁先生が説明をしていただいたが、各地域に合った医療や介護の連携とかがどれだけ地域に医療機能等々が必要なのかということを皆さんで考えていただきたいという内容であった。

議事

1) 新たな地域医療構想への取り組みについて

2) その他

11. 令和 7 年度第 2 回地域密着型サービス運営委員会

原 理 事

令和 7 年 10 月 23 日（木）阿久根市役所で開催された。

阿久根市が募集する看護小規模多機能型居宅介護事業所に 1 件の応募があり、その採点を行った。

阿久根市より情報の保護をお願いされており提示できないが、おそらく選定になるものと思われる。9 千万円くらいの補助が出ていたと思う。

12. 准看護学校

新 富 理 事

- 1) 令和 8 年度入学 広域医療センター附属阿久根看護学校推薦入試
受験生 2 名全員合格 (医療機関推薦 2 名)
- 2) 11 月 1 日 (土) 令和 8 年度入学 推薦・社会人入試本校にて実施。

受験枠	女子	男子	計
高校推薦	2 名	2 名	4 名
医療機関推薦	0 名	0 名	0 名
社会人	3 名	1 名	4 名
合計	5 名	3 名	8 名

- 3) 11 月 1 日 (土)
入試後、推薦入試判定会議実施。

【結果】8 名全員合格。

- 4) 第二病院にてインフルエンザ職員予防接種 11/4～11/10 全員実施
今後の予定

11/12 (水) : 広域医療センター施設オリエンテーション (1 年生参加)

11/14 (金) : 2 年生 臨地実習終了

11/17 (月) : 合同庁舎の消防訓練 13:30～ (1 年生のみ参加)

11/25 (火) : 1 年生基礎看護実習 I 開始 (12/12 まで広域医療センター)

11/25 (火) : 2 年生 資格試験願書用写真撮影 13:10～

12/ 6 (土) : 令和 8 年度入学生 一般入試

12/ 9 (火) : 資格試験願書提出予定

12/19 (金) : 終業式

令和 7 年度 学生総数 (令和 7 年 11 月 1 日現在)

	1 年生	2 年生	合計
学生数	8 名 (内 1 名休学)	8 名	16 名 (内 1 名休学)

13. 附属阿久根看護学校

内 匠 理 事

- 1) R 7. 10

10 月 1 日 (水) 防災訓練 (2 日まで)

10 月 22 日 (水) 推薦・社会人入学試験 10:00～

※応募者状況 2 名 (推薦 2 名) 出水准看護学校 2 名

10 月 27 日 (月) 第 2 回運営委員会

(報告事項) 1. 学生の状況について

2. 令和 8 年度推薦・社会人応募者について

3. 令和 7 年度上半期 (4 月～9 月) 状況について

4. 精神実習施設の変更について

5. その他

・令和 7 年度私立学校運営状況調査

調査日 令和 7 年 12 月 11 日 (木) 13 時 00 分～

(協議事項) 1. 令和 8 年度推薦・社会人入学試験合格について

2. 多職種ハイブリッドシミュレータ (シナリオ) の購入
について

3. その他

10 月 28 日 (火) 推薦・社会人合格発表

※郵送とホームページに合格者の受験番号を 10/28～10/31 まで掲載。

2) 今後の予定について

11月4日(火) 統合実習開始

11月5日(水) 地域交流会

11月28日(金) 日本医療マネジメント学会九州山口連合大会(29日まで)

大分県別府市 参加人数 20名(2年生18名、引率教員2名)

12月15日(月) 卒業試験

2月15日(日) 第115回看護師国家試験 試験会場 福岡市

3) 学生の状況(11月1日時点)

	1年生	2年生	3年生	合計
学生数	14名	19名	9名	42名

※科目履修生が1年生1名、2年生1名含む

14. 広域医療センター

内 匠 理 事

別添[資料1] 参照

1) 10月の状況について

外来患者平均151人/日、入院患者については、一般病棟平均100人/日、回復リハ病棟 平均34人/日、地域包括ケア病棟 平均17人/日、緩和ケア病棟 平均7人/日の合計158人/日で前月より4名減、手術件数120件で前月より33件増であった。

10月の診療実績は、外来78,659千円(前年対比83.1%)、入院296,560千円(前年対比98.5%)で合計375,219千円(前年対比94.8%)となり、前月より約18,564千円の増収になった。

特別・個室利用状況は72.1%の利用率であった。

また、急性期一般入院基本料2の要件

・平均在院日数14.3日(21日以内)

・重症度、医療・看護必要度23.1%(21%以上)

15. 第二病院

朝 倉 理 事

別添[資料2] 参照

10月の平均患者数は、医療病棟50.8人(稼働率89.1%)、介護医療院62.7人(稼働率89.6%)になっており、全患者数は113.5人(稼働率89.4%)で推移した。

また、延べ患者数は医療病棟で1,574人(前月対比103.6%)、介護医療院で1,944人(前月対比99.8%)になった。

診療報酬は、概算ではあるが医療病棟で35,331千円、介護医療院で約35,231千円、合計70,562千円(前月対比101.6%)であった。

前月比較で、医療病棟は前月並みであるが、介護医療院の一日平均患者数が減少した関係で、診療報酬・介護報酬合わせて70,500千円となった。介護度の低い方の入所をはじめているが更なる方策を考える必要に迫られている。

16. 各支部報告

山 本 理 事

原 理 事

出水支部： 理事会報告を行った。

令和8年度日曜・休日当番医について協議がなされた。

阿久根・理事会報告を行った。

長島支部：令和8年度日曜・休日当番医について協議がなされた。

有村先生の辞退ご希望、植村先生の閉院（R8.2月）、三角先生の休診により、協議事項にて協議する。

17. 県理事報告

黒木県理事

1) 中央情勢

- ・早期に物価高騰に対する補助金を要望している。
- ・病床削減に対する申請はほぼ認められる方向である。

2) 医師会組織力強化

大学在籍の若手医師・研修医を中心とした組織強化を訴えていくことが重要
ただし、鹿児島県は教授をはじめ多くの医師が加入していただいている。

3) E M I Sについて

- ・診療所は有床のみ登録できる。
- ・しかし霧島地区など被害があった診療所の状況把握が遅れるので事務局への通信手段など考慮する必要がある。
- ・登録の医療機関の内3割程度しか被害状況把握訓練参加しなかった。

18. 法人検査について

別添〔資料5〕参照

令和7年9月30日（火）県より2名の検査員が来られ、3年に1回の公益法人検査が実施され、結果は概ね適正と認められました。

なお、別添のとおり口頭で事業報告と登記事項の変更について、指摘事項がありました。

19. その他

《承認事項》

1. 介護保険認定審査会委員の推薦について

別添〔資料3〕参照

標記の件、10月の理事会において、アンケートを取ることに決まり、アンケートの回答をもとに委員の名簿を別紙の通り作成致し、推薦したいので、ご承認頂きたい。

承認。

2. その他

《協議事項》

1. 令和8年度日曜・休日当番医について

標記の件、10月支部会でご協議いただきましたが、阿久根・長島支部の今後の当番医についてご協議願いたい。

阿久根・長島合同で当番医を行う（案）や2市1町合同で行う（案）等の色々な意見

が出されたが、それをふまえて阿久根・長島合同で行う（案）を原 阿久根・長島支部長が当番医編成プランを練られ、阿久根・長島支部会員に次回支部会にて意見を聴取することです承された。

2. かごしまドクター便りの原稿執筆者推薦について

別添〔資料4〕参照

標記の件、鹿児島県医師会では、疾病や治療法等について医療現場のエピソードを交えて広く一般の方々に分かりやすく説明することを目的として、毎月第3水曜日の南日本新聞紙上に「かごしまドクター便り」を連載して、執筆者は、これまで県医師会役員や鹿児島大学医学部の先生方等を中心にご依頼しているところですが、令和8年6月以降の掲載分については、郡市医師会の役員の先生方にも広くご執筆を賜ることとなり、執筆者の推薦依頼が来ておりますので、ご協議願いたい。

1. テーマ 疾病や治療法等について医療現場のエピソードを交えて一般の方々に分かりやすい記事をご寄稿いただきたく存じます。
2. 文字数 800字 ※肩書き、「◆第3水曜掲載。」の文言を含む
3. 顔写真 1枚

全地区に案内を出しているので、黒木副会長が状況を確認することです承。

3. その他

1) 学校医の報酬について

来 仙 会 長

標記の件、各地域によって報酬が違う旨、出水地区医療問題協議会で議論して頂く。県立学校の学校医報酬が24万円になることから、出水商業は同額にして頂く旨要望していく。

了承。

2) 出水地区医療問題協議会について

内 匠 理事

「病院の統合・集約化について」なんですけども、その時にもう少し詳しく説明させていただこうかなと思って、スライドを9枚作ってみました。内容はこの文章を少し細かくデータを出させていただけてます。例えば3頁目の当院の入院患者数とかですと、延べ人数はここ2〜3年57千人から昨年が62千人に増えてるんですが、入院患者数は当院は減ってますので、入院患者数は減って、在院日数は伸びて、延べ人数が増えている。多分、出水総合医療センターもそういうパターンじゃないかなと思うんですけど、その辺のデータと、カテのこととか、一番最後はくまもと県北病院が公立玉名中央病院と玉名郡医師会立玉名地域保健医療センターが統合されたのでその事例というのを少し出させてもらって、少しお時間いただければ、説明をさせていただこうかなと思っていますところ。

了承。

3) 12月理事会及び合同支部会について

11月の理事会において理事会の忘年会は、おきしんで行う旨、決めて頂いたが、予約を行ったところ火曜日は、定休日休みとのことであり、中村副会長にご相談して松角を予約した。内容については、焼肉としゃぶしゃぶがあり、どちらが良いか、ご協議願いたい。また、合同支部会の日に県医師会で糖尿病重症化予防推進研修会が開催され、中継をされるかご協議願いたい。

理事会は、松角でしゃぶしゃぶ、糖尿病重症化予防推進研修会は、中継はせずに Web 配信の案内だけ行うことと了承。

令和 7 年 11 月 11 日

(出席された理事・監事全員にご署名・押印いただくこと
になります。)

会	長	印
副	会 長	印
理	事	印
理	事	印
理	事	印
理	事	印
理	事	印
理	事	印
理	事	印
理	事	印
監	事	印

次回理事会 … 令和 7 年 12 月 9 日 (火) 19:00～ 予定